

# 【掲載記事】160629岩手日報 「地域おこし企業人協定締結」

## 移住促進へ民間の力

町と企業  
協定締結  
関さん発信に意欲

雫石

雫石町は28日、移住促進施策を進めるため、高齢者住宅の企画、運営などを手がけるコミュニティネット（東京都千代田区、高橋英興社長）の社員関由美子さん（57）の派遣を受ける協定を結んだ。

総務省の「地域おこし企業人交流プログラム」を初めて活用。同日は町役場で深谷政光町長と高橋社長が協定書を取り交わした。

関さんは「移住体験ツアーを通じて雫石の自然や文

化の価値を伝えるとともに、町内の受け入れ態勢も整えたい」と抱負を語った。関さんは町企画財政課に配属され、任期は7月1日からの3年間。町や同社などが出資するコミュニティ

ライフしずくいし（社長・深谷町長）に出向し、大都市圏の移住希望者への広報などの業務に当たる。町は観光関連企業との協定締結も目指している。

同プログラムは、自治体が協定を結んだ大都市圏の民間企業から人材の派遣を受ける制度で、県内では陸前高田市が活用している。



雫石町に派遣され、町の移住促進施策に携わる関由美子さん